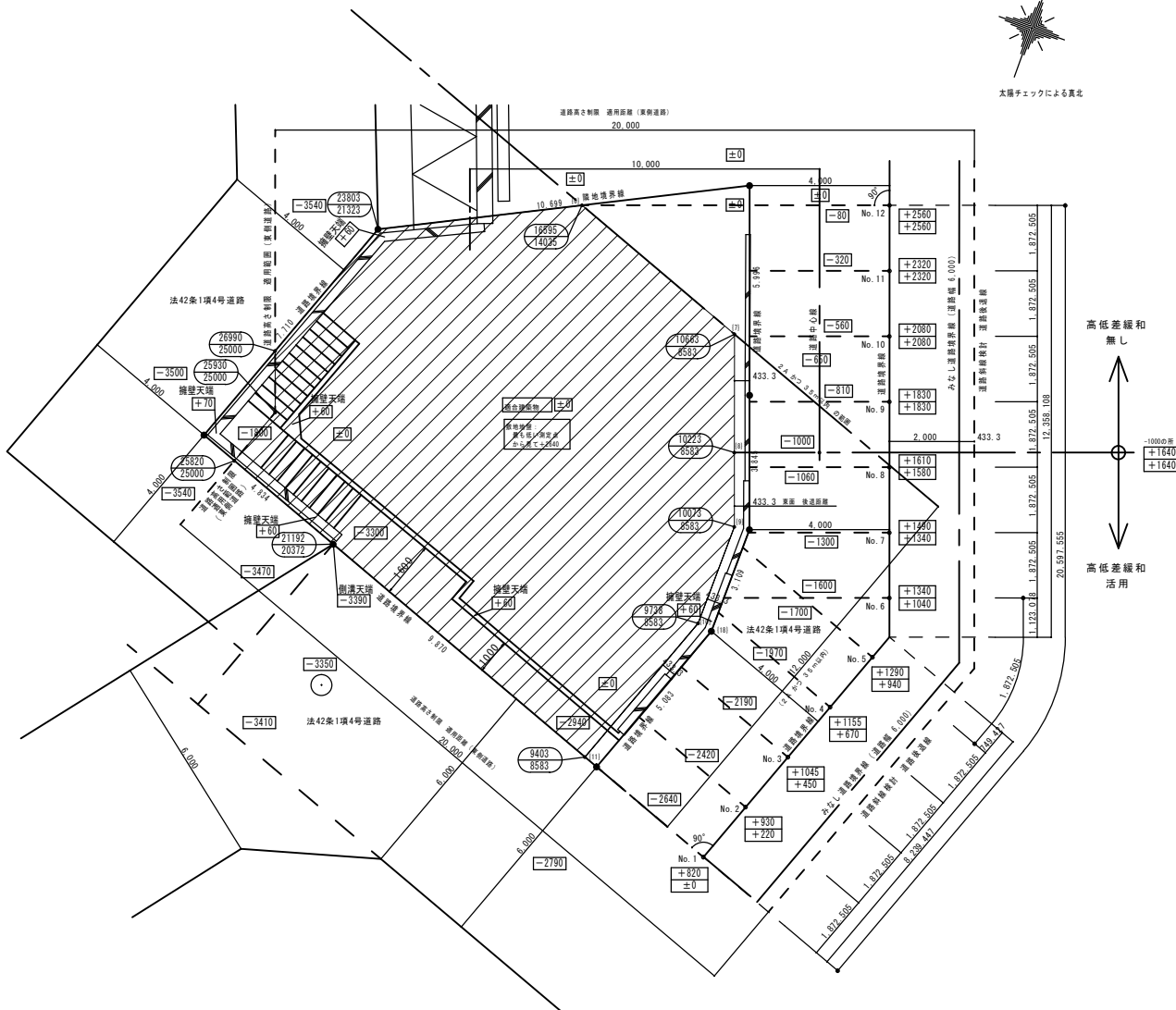
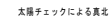
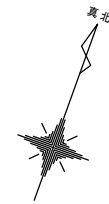




高低差緩和
無し

↑

○

↓

高低差緩和
活用

～1000の差
+1640
+1640

高低差緩和
活用

適合建築物 東側道路面・道路幅員 6,000 扱いのエリア

凡 例	
±0	道路中心や隣地を含む宅地敷地において、申請建築物の平均地盤面を±0とした時の高さ ※本図では平均地盤面＝設計G.L
測定の高さ +1000 ±0	上段：最も低い測定点の高さを±0とした場合の、高低差緩和と道路の高さ ※本図では「-2640」の所を±0とする 下段：最も低い測定点の高さを±0とした場合の、実際の道路の高さ ※本図では「-2640」の所を±0とする
建築物の高さ 10663 8583	上段：下段の数値に、高低差緩和と道路高を反映した時の、最も低い測定点 ※(本図では「-2640」の箇所)を±0とした場合の建造物の高さ 下段：各ポイントから道路法道水平面配向のみなし境界線まで車線を重ねると、その水平距離に道路横斜勾配率(1.25)を乗じて得た距離

[illegible]

天空率検討ソフト：JW-CAD (WIN) Ver5.02a

越川奏一建築事務所		一級建築士事務所	一級建築士	換印	作図	工事名称 〇〇 〇〇 様邸 新築工事	DATE H.00.00.00	No A-〇〇
〒288-0814 鏡子市春日町3154-1	TEL 0479-23-1056 FAX 0479-23-1078	千葉県知事登録 第 1-0307-602号	第 130997号 越川 奏一			図面名称 天空率計算・適合建築物 東道路・幅員 6000 扱いエリア	SCALE 1/100 1/200	